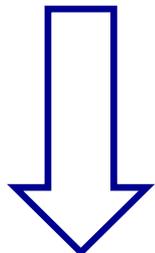


# 酒食を提供する飲食店における 多年齡層に対する光環境の印象評価

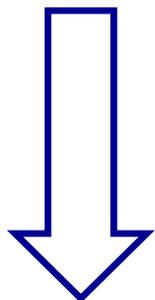
指導教員 大嶋拓也助教

# 1. 研究の背景と目的

光環境の印象評価調査事例：  
飲食店の事例は少ない



酒食を提供する飲食店の特徴：  
雰囲気重視の照明  
薄暗い内部空間

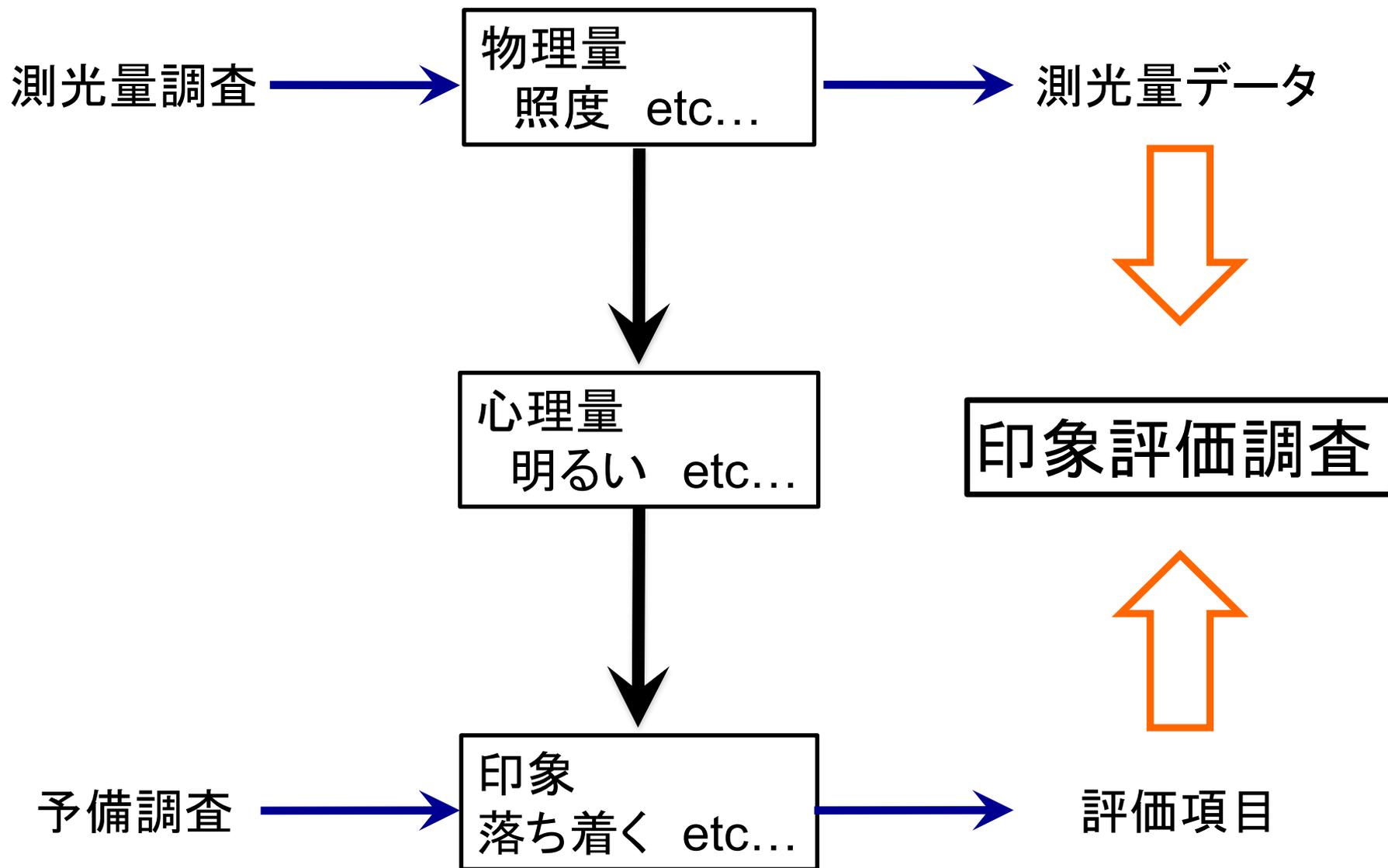


年齢と印象評価との関連



店舗照明例

## 2. 調査概要



# 3. 予備調査

調査方法:

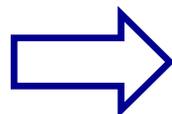
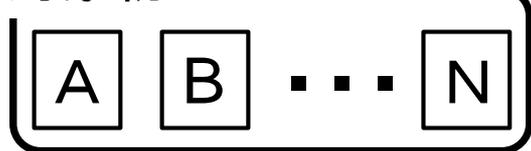
評価グリッド法面接調査

対象者:

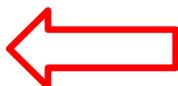
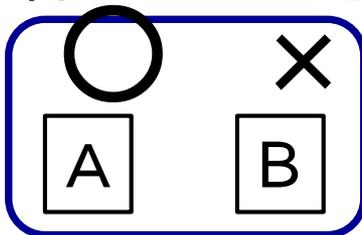
青年層(20代前半、15名)

壮年層(50代前半、4名)

対象物



居心地のよさ



抽象的な理由

具体的な要求

## 抽出した評価項目

A	明るい — 暗い
B	暖色な — 寒色な
C	高級な — 安そうな
D	安らげる — 緊張する
E	派手な — 地味な
F	落ち着いた — 賑やかな
G	楽しい — つまらない
H	柔らかい — かたい
I	開放的な — 閉鎖的な
J	居心地のよい — 居心地の悪い
K	清潔な — 不潔な
L	安心な — 不安な
M	和風的な — 洋風的な
N	静かな — 五月蠅い
O	生活感のある — 生活感がない
P	伝統的な — 現代的な
Q	ごちゃごちゃした — すっきりした
R	違和感のある — 違和感のない
S	美しい — 醜い
T	個性的な — 平凡な

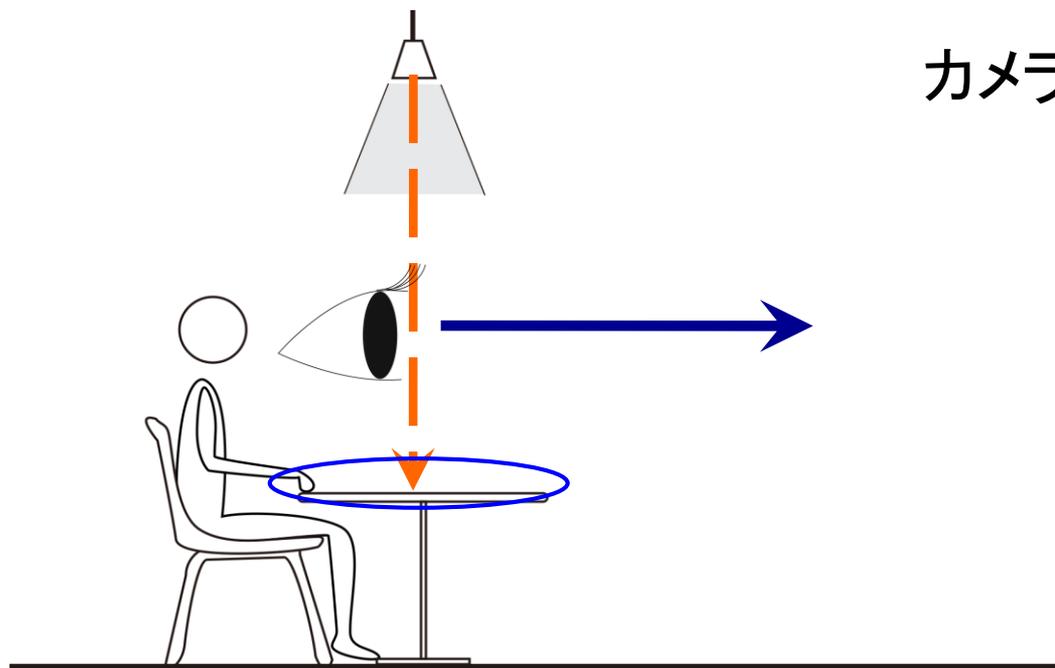
# 4. 店内光環境の測光量調査

調査店舗：

新潟市（新潟駅、古町周辺）9店舗

調査項目：

食卓での机上面照度、色温度  
着席時視線高さの平均輝度、輝度分布



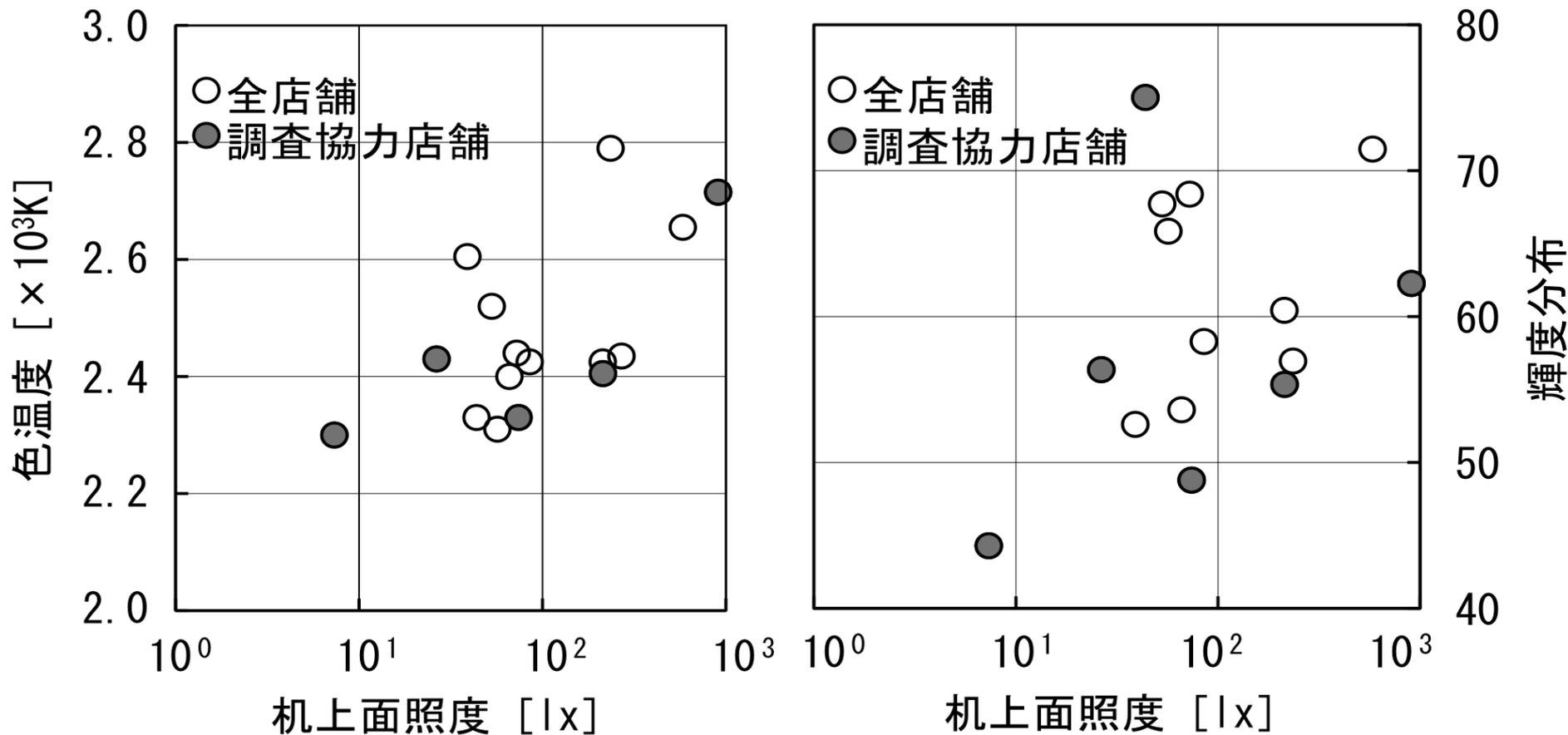
カメラの露出情報

RGB情報

輝度算出  
プログラム

輝度情報

# 4. 店内光環境の測光量調査

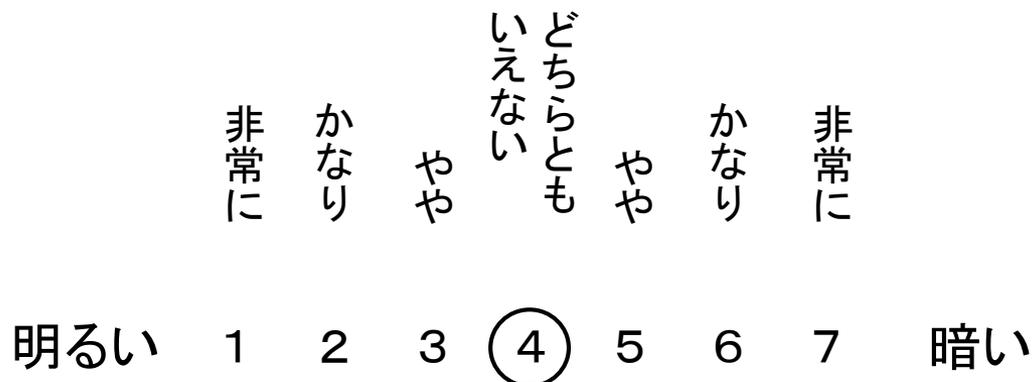


各測光量間の関係

# 5. 印象評価調査

調査方法:

SD法(7段階、20形容詞対)



調査対象者:

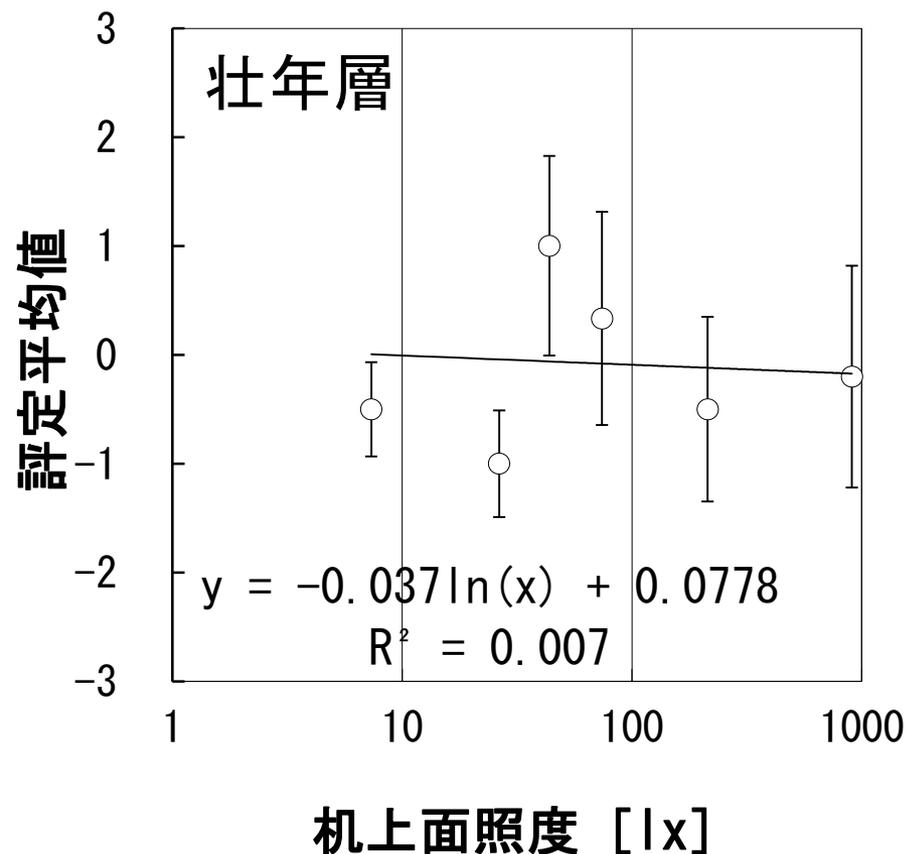
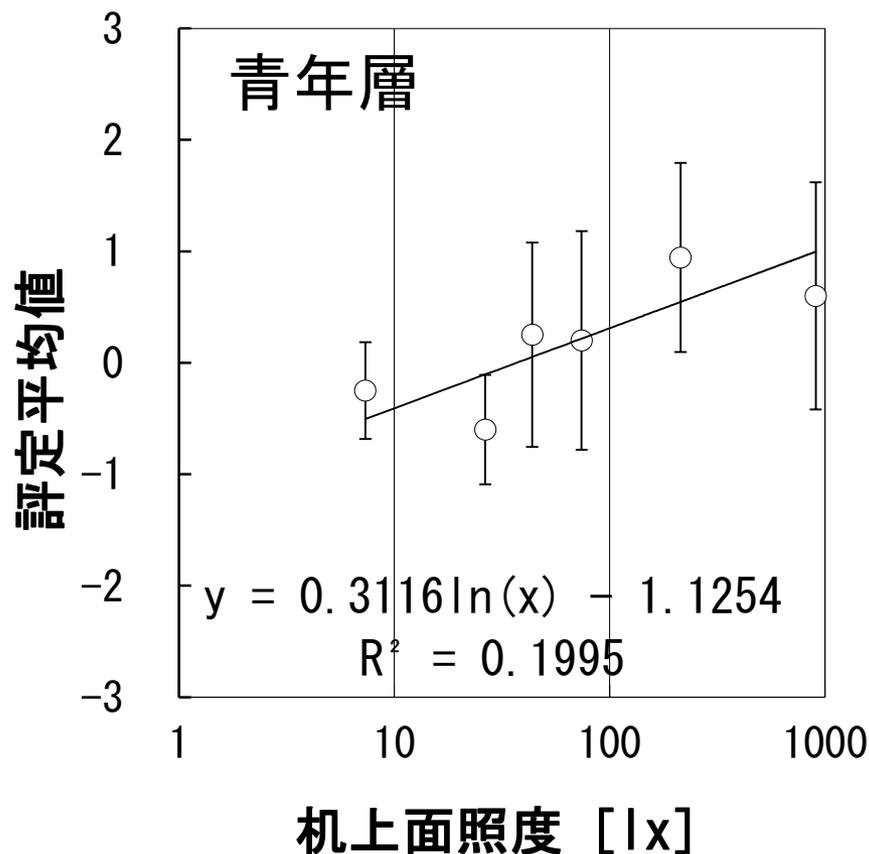
調査協力店舗利用者  
20代51名、40代22名

## 印象評価項目

A	明るい — 暗い
B	暖色な — 寒色な
C	高級な — 安そうな
D	安らげる — 緊張する
E	派手な — 地味な
F	落ち着いた — 賑やかな
G	楽しい — つまらない
H	柔らかい — かたい
I	開放的な — 閉鎖的な
J	居心地のよい — 居心地の悪い
K	清潔な — 不潔な
L	安心な — 不安な
M	和風的な — 洋風的な
N	静かな — 五月蠅い
O	生活感のある — 生活感がない
P	伝統的な — 現代的な
Q	ごちゃごちゃした — すっきりした
R	違和感のある — 違和感のない
S	美しい — 醜い
T	個性的な — 平凡な

# 5. 印象評価調査

「明るいー暗い」の評定平均値と机上面照度との関係



データ範囲の訂正：平均値→全データ

物理量→心理量間に有為な相関が見られなかった

# 5. 印象評価調査

---

## 分析方法の変更

梗概提出時：物理量→心理量に相関

心理量→印象



物理量→印象

データ訂正後：物理量→心理量は無相関

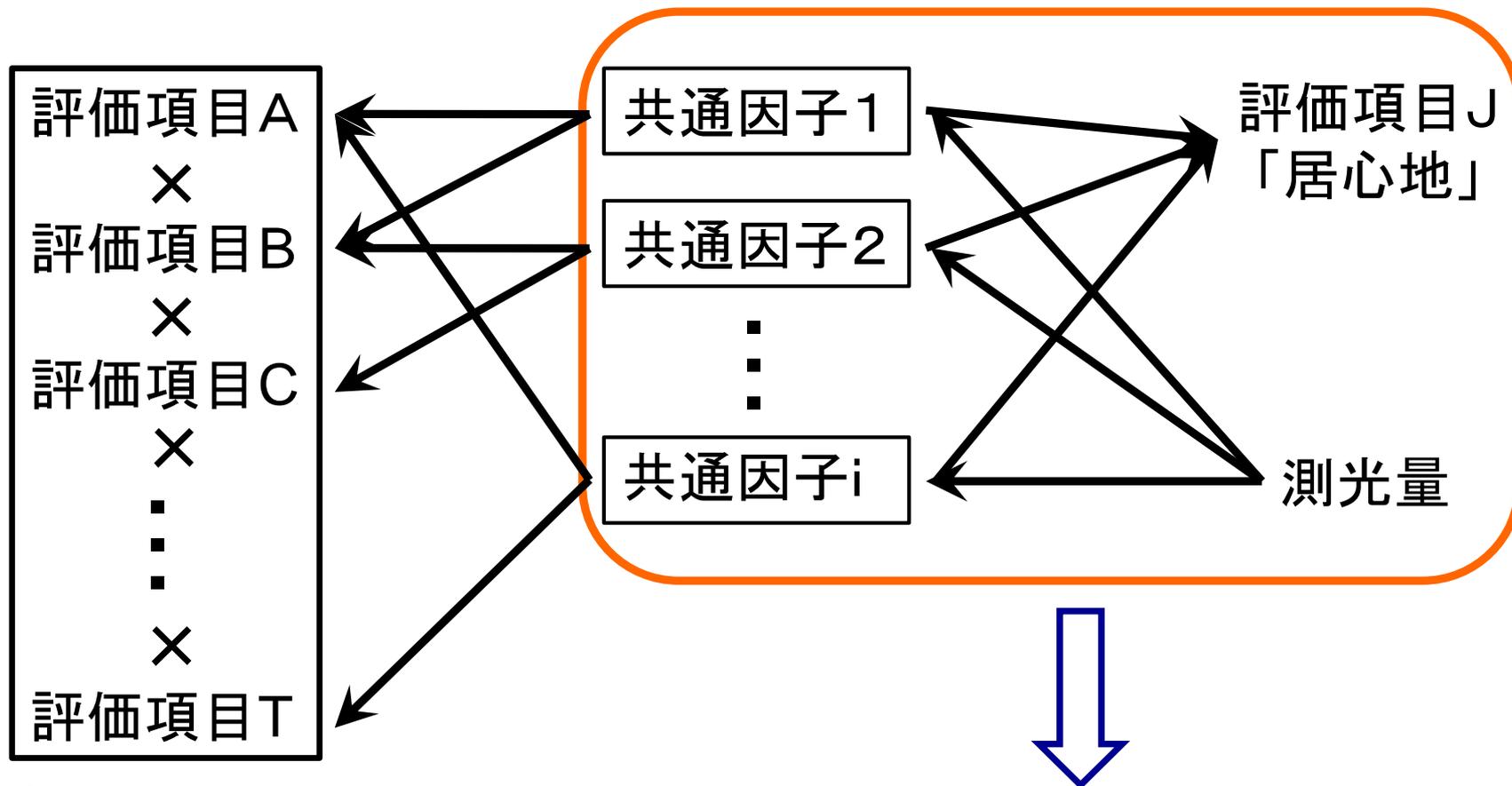
心理量＋印象→総合指標



物理量→総合指標

# 5. 印象評価調査

総合指標を用いた分析方法



評価項目Jを除く  
印象評価項目

年齢層比較

# 5. 印象評価調査

## 因子分析結果（青年層）

S「美しい—醜い」  
E「派手な—地味な」  
C「高級な—安そうな」  
K「清潔な—不潔な」

⇒ 審美性

F「落ち着いた—賑やかな」  
A「明るい—暗い」

⇒ 活動性

O「生活感のある—ない」  
G「楽しい—つまらない」

⇒ 評価性

R「違和感のある—ない」  
T「個性的な—平凡な」

⇒ 特色性

	第1因子 審美性	第2因子 活動性	第3因子 評価性	第4因子 特色性
S	0.925	-0.105		
E	0.722	-0.139		
C	0.661		-0.156	0.181
K	0.649	-0.231	0.225	-0.228
N	0.589	-0.225	-0.171	0.161
B	0.489	0.264	0.266	-0.287
D	0.478		0.223	-0.103
F	0.314	-0.736		
Q	-0.172	0.572	0.339	
A	-0.137	0.529		-0.175
P	0.190	0.444	0.318	0.357
O	0.189	-0.199	0.612	
M	0.512	-0.174	0.592	-0.158
G	0.205	0.126	0.507	-0.369
L			0.495	
H		0.344	0.480	
R	-0.227		-0.201	0.603
I	0.513		0.388	0.565
T	-0.174	0.225	0.106	-0.425
寄与率 [%]	17.9	12.3	11.2	7.4
累積寄与 率 [%]	17.9	30.2	41.4	48.8

# 5. 印象評価調査

## 因子分析結果（壮年層）

D「安らげる—緊張する」  
L「安心な—不安な」  
F「落ち着いた—賑やかな」  
K「清潔な—不潔な」

⇒ 快適性

O「生活感のある—ない」  
T「個性的な—平凡な」

⇒ 特色性

M「和風的な—洋風的な」  
P「伝統的な—現代的な」

⇒ 様式

S「美しい—醜い」  
E「派手な—地味な」

⇒ 審美性

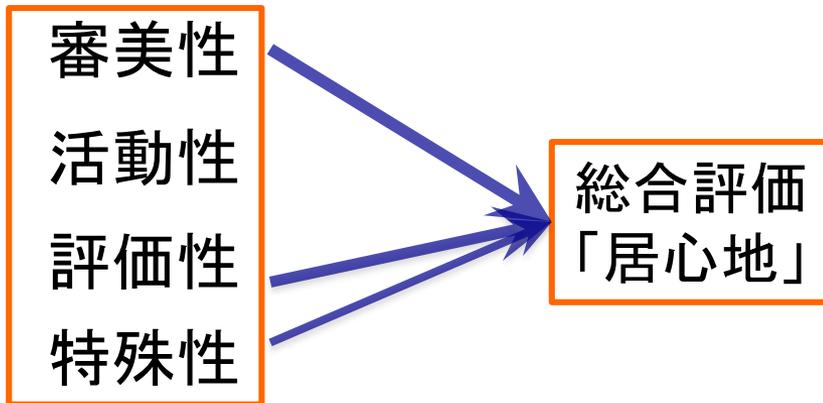
	第1因子 快適性	第2因子 特殊性	第3因子 様式	第4因子 審美性
D	0.881		0.133	-0.142
L	0.85	0.189	0.419	-0.154
C	0.797	-0.179	0.185	
K	0.758	0.216		
G	0.713	0.181	0.149	
H	0.696	0.258		
F	0.68	0.353	0.318	0.176
R	-0.658	-0.315		-0.178
B	0.604	0.257	0.354	
I	0.426	-0.175	0.209	
Q	-0.123	-0.801	-0.156	
O	-0.236	-0.814	0.223	
N		0.798	0.583	0.118
T	0.21	0.611	0.306	
P		0.163	0.699	
M	0.206	-0.179	0.464	-0.334
S	0.452	0.316	0.13	0.821
E	-0.123	-0.138	-0.152	0.634
A	0.221			
寄与率 [%]	26.1	19.1	9.1	7.5
累積寄与 率 [%]	26.1	45.2	54.3	61.8

# 5. 印象評価調査

評価項目J「居心地」に対する重回帰分析結果

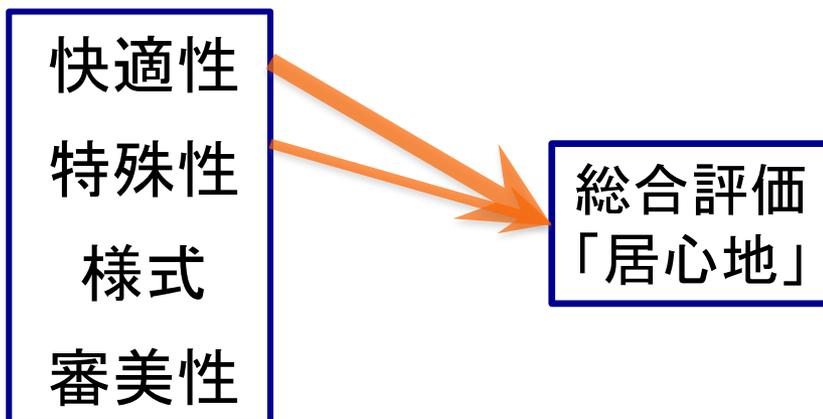
青年層

標準偏回帰係数					決定係数
第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	定数項	
審美性	活動性	評価性	特色性	0.000	0.475
0.463 ***	-0.057	0.421 ***	-0.312 **		



壮年層

標準偏回帰係数					決定係数
第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	定数項	
快適性	特色性	様式	審美性	0.000	0.526
0.661 ***	0.369 *	0.109	0.150		



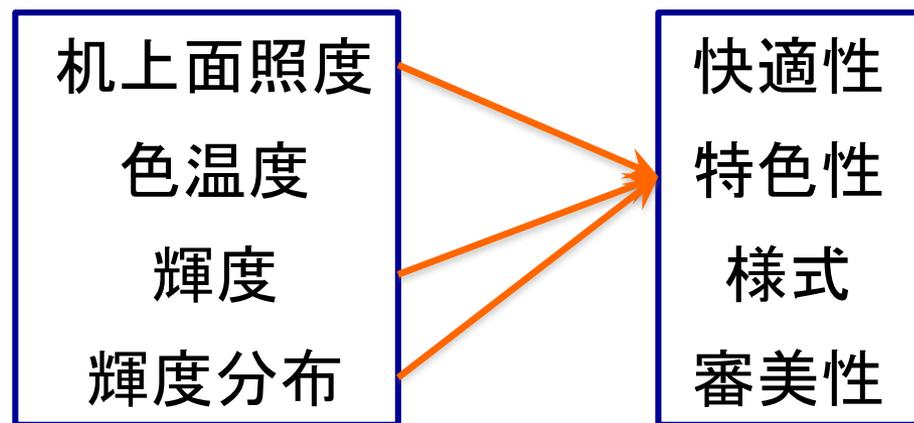
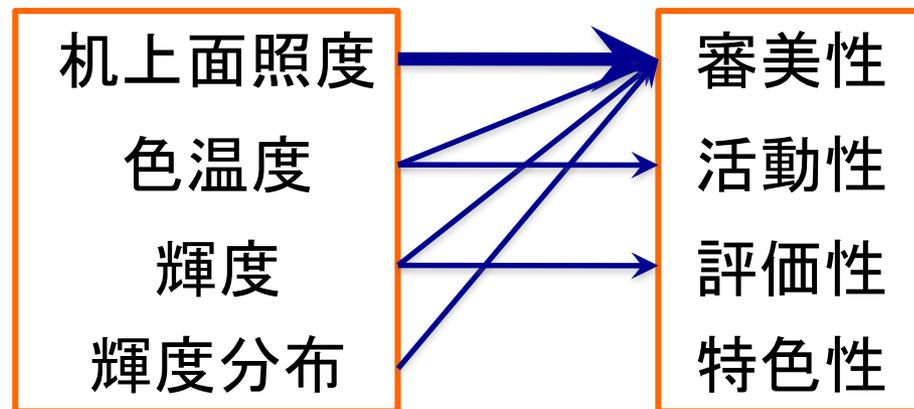
\*:  $p \leq 0.05$  \*\*:  $p \leq 0.01$  \*\*\*:  $p \leq 0.001$

# 5. 印象評価調査

青年層	平均机上面照度	平均色温度	平均輝度	輝度分布
第1因子 審美性	36.570 ***	7.843 **	8.283 **	5.435 *
第2因子 活動性	3.544	4.278 *	0.847	0.010
第3因子 評価性	0.361	0.280	4.583 *	2.873
第4因子 特色性	1.908	0.002	0.623	1.115

壮年層	平均机上面照度	平均色温度	平均輝度	輝度分布
第1因子 快適性	3.688	3.358	0.073	0.511
第2因子 特色性	13.121 **	3.270	11.757 **	11.311 **
第3因子 様式	0.001	3.285	0.229	0.000
第4因子 審美性	0.223	0.117	0.561	0.233

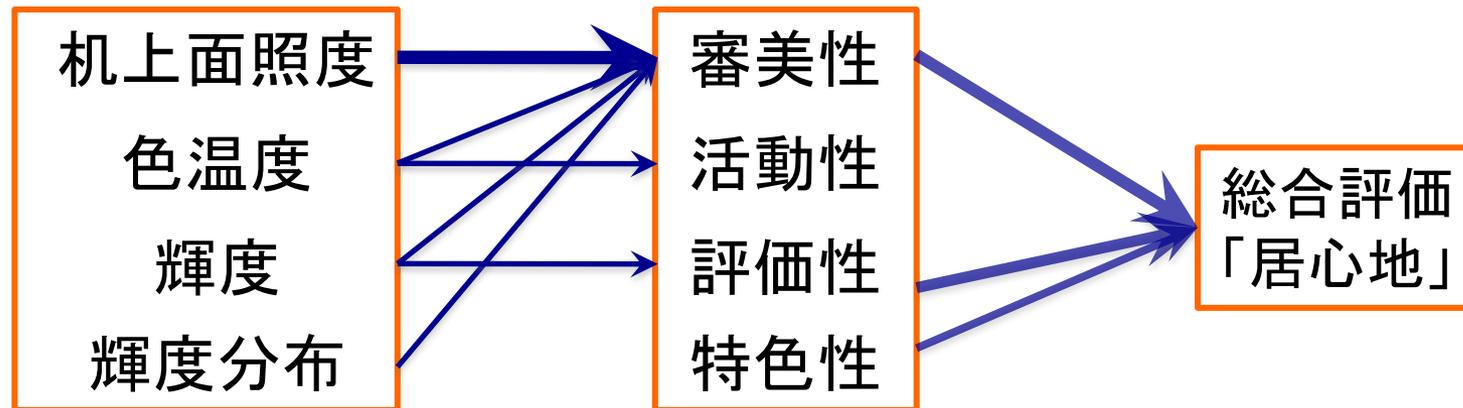
## 測光量と評価因子の分散分析結果



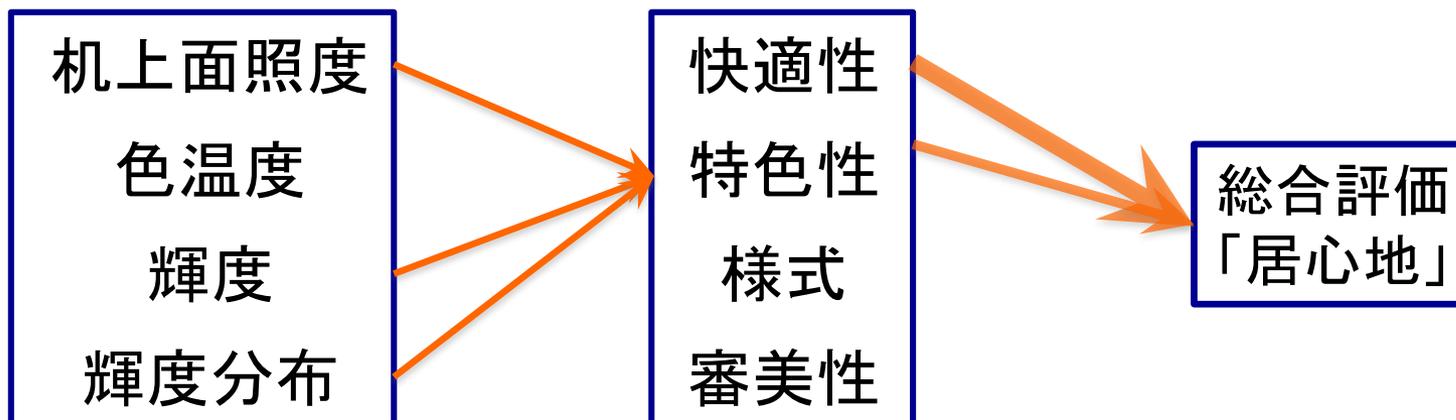
\*:  $p \leq 0.05$    \*\*:  $p \leq 0.01$    \*\*\*:  $p \leq 0.001$

# 5. 印象評価調査

青年層



壮年層



## 6. まとめ

---

### 年齢が光環境の印象評価に与える影響をみる

- ・物理量→心理量  
影響は分からず
- ・物理量→総合評価  
色温度の影響が弱まる  
審美性への影響が弱まる

加齢に伴い居心地がよいと感じる光環境は変化